

令和5年度 第7回 豊田市井郷地域会議 会議録

開催日時	令和5年10月18日(水)	開会	閉会
		午後7時00分	午後7時50分
会場	猿投コミュニティセンター2階 大会議室		
出席者	地域会議委員：15人		
	会長：加藤 勝 副会長：永江 榮司		
	委員：稲垣 一志 岩本 直雄 大上 二三子 梶原 虎之介		
	加藤 俊治 加藤 真郎 近藤 一也 新宮 敏雄 杉浦 基之 鈴木 登喜一 高畑 春香 福岡 信明 宮地 俊久		
欠席者	5名 (伊東 由岐雄 後田 澄夫 澤田 章 鈴木 幹三 田中 功)		
傍聴者	0名		
事務局	猿投支所：広瀬支所長、太田副支所長、宮石担当長		
内容	1. 豊田市民の誓い(唱和) 2. 会長あいさつ 3. 「第9次豊田市総合計画」に関する諮問について 4. 地域会議だより12月号について 5. 情報共有・事務連絡		

■議事(要約)

3 「第9次豊田市総合計画」に関する諮問

答申書(案)と前回の意見のまとめから整理した変更点について事務局から説明
(資料1～3頁) ※前回のまとめ(資料4～6頁)

結論：答申書の添付資料について、委員からの意見を踏まえて表現等については事務局に一任する。

質疑等：理由・背景も答申として出すのか。直接的な表現が多いので、修正した方が良いのでは。資料2頁の項目1の「地域の行事も変わり映えしないものが多いため、特に若者が参加しない」という部分は、例えば「暮らし方や考え方の多様性が進み、全世代で行事に参加する人と参加しない人が分かれている」としてはどうか。

回答：理由・背景についても、答申書の添付資料として提出する予定。表現については事務局で見直す。

質疑等：項目5について、「楽しく仕事ができる」というのは住んでいる地域が良くても楽しく仕事ができるとは関係ないので、若者が入って来やすいまちや、定住ができるまちという表現がいいのではと思う。

回 答：修正する。

質疑等：項目8について、冒頭が「イケメンカを上げるため」で始まるのであれば、最後は「施設が必要である」という表現になるはず。

項目9について、「洗練されたまちづくり」に対する理由・背景の内容がずれているように感じる。

回 答：項目8については、表現を調整する。項目9については、表現が抽象的なので項目として削除し、部分的な要素は他項目で使える箇所があれば入れる。

質疑等：項目4について、「文化・芸術・伝統」を高齢者からいきなり子どもにという表現は、違和感がある。

回 答：子どもだけではなく、その上の世代への継承が必要なので、順番に継承するという表現になるように、「若者への継承」に変更する。

4 地域会議だより12月号

・地域会議だより12月号の案について、事務局から内容説明（資料7・8頁）

結論：事務局案について承認

→質疑なし

5 情報共有・事務連絡

・JSCクラブだより（R5 10月10日号）の紹介

（次回の予定）

日時：令和5年11月15日（水） 午後7時から

場所：猿投コミュニティセンター2階 大会議室

内容：諮問答申の協議

※答申書の修正状況により書面開催の場合あり。書面開催の際も文書で連絡する。